

ののうち

ののうちとVOL.26

後援会だより—January

発行日:2018年1月31日

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

昨年の松江市議会議員選挙では3期目の当選をさせていただきました。その重みをしっかりと感じながら、初心を忘れずに市民の皆様からのご意見や課題に取り組んだ一年でした。

改選後には、会派役員や議会運営の委員のほか総合交通対策特別委員長、9月議会では決算特別委員長なども務めさせていただきました。また、11月定例市議会では新庁舎建設特別委員会委員や山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市議会議員連盟幹事長に選出されるなど、議会の中心での活動の場をいただきました。

本年は、4月の中核市移行や松平不昧公没後200年祭記念事業などの一方、地方創生施策の展開を始め、児童福祉や高齢者福祉など課題が山積しています。また、松江城山稲荷神社式年神幸祭(通称:ホーランエンヤ)を1年後に控え、準備の年でもあります。

野々内は、諸課題の解決を目指す当初の姿勢は今も変わりません。松江市の発展や地域の発展のために、今年も全力を尽くして進みます。

今年も全力を
尽くして進みます。



中核市関連議案などを議決 11月松江市議会

11月29日に開会され、12月19日に閉会した11月定例松江市議会。本年4月の中核市移行に備えるための関係議案や、平成17年以来となる公共料金改定の条例案件などが提案されました。

補正予算では、一般会計が17億3,048万円余で、繰上償還や財政調整基金積立金に10億2,269万円を計上し財政健全化を図る一方、ジオパーク・ビジターセンター整備に1,500万円、八束学園の義務教育学校移行への整備費250万円などを計上しました。また、議員提出の小中学校におけ

るプログラミング教育への支援を求める意見書と小中学校へのエアコン設置に係る補助の予算を拡充することを求める意見書も提出され、いずれも原案のとおり議決しました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

新幹線整備促進議連幹事長に選任されました

12月19日の定例議会最終日、「境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟」と、「山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市議会議員連盟」の設立総会がありました。このうち、野々内は、山陰新幹線・伯備新幹線



新幹線を1日も早く山陰へ

整備促進松江市議会議員連盟の幹事長に選出されました。両新幹線の基本計画は1973年に閣議決定されましたが凍結状態で、具体的な進展を促す活動を今後展開していきます。

横網陣幕の顕彰事業

平成27年は、郷土が誇る第12代横網陣幕久郎通高が横網の免状を授かってから150年の記念の年であり、陣幕会(加藤勇会長)が中心となって各種の顕彰事業を実施しました。

10月24日には、記念事業として浄財を集め玉垣の修繕事業が行われた横網陣幕碑に、日本相撲協会の立田川親方(元豊真将)が来訪し表敬しました。また、11月26日には、東出雲ふれあい会館で、150年を記念する式典がありました。島根県唯一の横網は今もって陣幕であり、尾道市との姉妹都市の縁をつないだのも陣幕です。島根県から次の横網が生まれることを願っています。



横網陣幕碑での顕彰事業

宝満山銅山の学習会

東出雲町内馬に、宝満山という最盛期には全国23位の産銅量を誇った銅山があったことをご存知でしょうか。

12月16日、地質学の専門家などが集まり、現地の見学や出雲郷公民館での意見交換を行いました。最盛期の明治後期から大正時代には約3千人の人口があったようです。郷土の歴史として、鉱毒という負の遺産の歴史もありますが、島根県の鉱業を牽引する時代もあった宝満山を誇らしく思い、今後スポットを浴びせたい宝満山銅山の学習でした。



公民館内での宝満山銅山の学習会



現地での宝満山銅山跡地の見学

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.26を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在67歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選、平成29年4月3期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX/0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

一般質問

野々内は、11月定例市議会では連続25回目となる一般質問を行いました。一問一答方式で大きく3問を質問しましたが、それぞれに課題解決に向けて前進する回答がありました。（一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています）

○経済委員会の行政視察から先進事例を学ぶことについて

①中小製造業の振興策として、航空機産業への参入支援を行う考えはないか伺う。

10月に経済委員会行政視察で新潟市を訪れ、航空機関連産業支援に「産・学・官」連携で取り組む状況を学びました。国の支援事業採択を受け共同工場を次々と完成し、部品の共同生産と無人航空機の研究・開発を進めていました。

関係機関への周知も考えています。

②避難勧告が出されたが唐突感はある。その前後の消防団等の出動態勢を伺う。

菅井消防長 消防団は、原則、消防本部の指令により出動。本件は15時に水防準備態勢への移行、18時50分氾濫水位到達を全消防団員に情報提供。その後、20時30分の避難勧告発令を受けて管轄消防団に出動を指令し、消防団3分団と常備消防が連携し、意宇川下流域で避難広報、避難誘導及び警戒巡視を行ないました。

③支所との連携について、ある程度対応を任せることも必要だと思いが考えを伺う。

多久和防災安全部長 より現場に近い支所が自ら判断し臨機の対応することは当然だと考えていますし、可能だと考えています。

④住民周知は適切に行われたと考えるか、今後には備え対策が必要だと思いが考えを伺う。



航空機産業

への参入支援を本市として行う考えはないか、支援制度の創設や共同受注のために多工程共同工場等の設置の考えを伺います。

矢野産業経済部長 成長分野だと認識していますが、品質管理の認証の厳しさや多大な初期投資などが出てくると考えています。情報を提供し、市の訪問活動を通じて機運醸成に努めたいと思います。新たな支援制度は、アクションプランの改定作業の中で必要な運用を図り、共同工場は企業の利用見通しを踏まえて改めて検討したいと考えています。



新潟市の地域イノベーション推進センター

多久和防災安全部長 今回は、地域防災計画で定められている伝達方法を使うとともに、消防団員による広報車広報、地区によっては個別に声かけを行ない広報しました。今後もその必要性について周知したいと考えています。

⑤避難場所への指定と誘導は適切だったか、市民と話し合い対策と周知を図るべきと考えるが、対応を伺う。

多久和防災安全部長 今回は避難所を右岸と左岸に分けての避難勧告はしませんでした。今後も状況に応じた対応を行ないたいと考えています。

⑥今回を教訓として、松江市全域での避難や対処の計画をどう考えるか伺う。

多久和防災安全部長 市内には氾濫による水害に警戒が必要な多くの河川があり、個別の対応が必要であると考えています。また、市民に対して、命を守るための重要な考え方、対応方法について二層の周知を

②食と農に関する産業支援として、農業生産者を表舞台に誘い出す取り組みについて伺う。

「新潟市食文化創造都市」の中で注目したのは「食と農が結びついた取り組みでした。生産者・料理人・消費者の新たなつながりの各種事業が行われ、特徴は生産者を表舞台に誘い出していること。そして、継続的なしつかりとしたねらいを持った事業でした。地域産業の活性化や交流人口の拡大を図り地産地消にも役立つ取り組みを、本市でも行う考えはないか伺います。

矢野産業経済部長 本市では、これまで農林水産祭などで生産品の魅力を消費者に直接伝え、意見を聞き、消費を拡大する場を提供。また、食の魅力や大切さ、健康への関心を高めるために、里山マルシェ等の交流の機会の場を作ってきました。今後も新潟市などの取り組みを参考に、松江ならではの農林水産物と食、食と観光による地域の活性化を図りたいと考えています。

図りたいと考えています。

○待機児童対策について

①休職する際に企業の理解と協力が欠かせないが、中小企業等の理解を進めるため、事業所への協力要請はどのように行っているのか伺う。

市では待機児童解消に向けて努力をしていますが、休職をして安心して子育てをするためには、育児休業中の手当てや復職後を約束する企業の協力が欠かせません。商工団体加入事業者や未加入小規模事業所にも理解と協力していただく必要があります。本市の事業所への協力要請の考えを伺います。



子どもたちの未来づくりは大人の責任です

松浦市長 育児休業の取得について、小規模の事業所に対しても働きかけをしていく必要があると考えています。そこで、

○9月の台風18号豪雨の教訓を活かすことについて

①意宇川流域に避難勧告が出たが、避難判断水位の考えについて伺う。

台風18号豪雨で意宇川流域に避難勧告が出た際、意宇川出雲郷観測所では、最大3.00mの水位を記録。この避難判断水位は2.80mで、平成28年度に3.10メートルから変更されたと聞きました。その理由と未実施の流域住民周知についての考えを伺います。

多久和防災安全部長 内閣府が示す指針の改訂を受けて、平成28年度島根県により避難判断水位等が変更されたものです。県では設定水位も見直すとのことですが、市でも関係住民の皆様の意見も聞きながら、適切な水位設定がされるよう協議したいと考えています。また、その結果は流域住民や消防団など



おうえ橋からの平常時の意宇川

国、県、商工会議所も参加をいただき育児休業を取得しやすい環境づくりを推し進めていくための検討の場を今後設けて、小規模の事業所に対しても理解を得るようにしていきたいと思えます。

2月議会予定

- 2月 21日(水) 本会議 (会期の決定、提案説明)
- 26日(月) 27日(火) 一般質問
- 28日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 3月 1日(木) 予算委員会 (質疑、分科会付託委託)
- 2日(金) 5日(月) 総務委員会・予算委員会総務分科会
- 6日(火) 教育民生委員会・7日(水) 予算委員会・教育民生分科会
- 8日(木) 経済委員会・予算委員会経済分科会
- 9日(金) 経済委員会・予算委員会・経済分科会、建設環境委員会現地視察
- 12日(月) 13日(火) 建設環境委員会・予算委員会・建設環境分科会
- 16日(金) 予算委員会 (分科会長報告質疑、討論採決)
- 22日(木) 本会議(委員長報告、質疑、討論採決、閉会)